

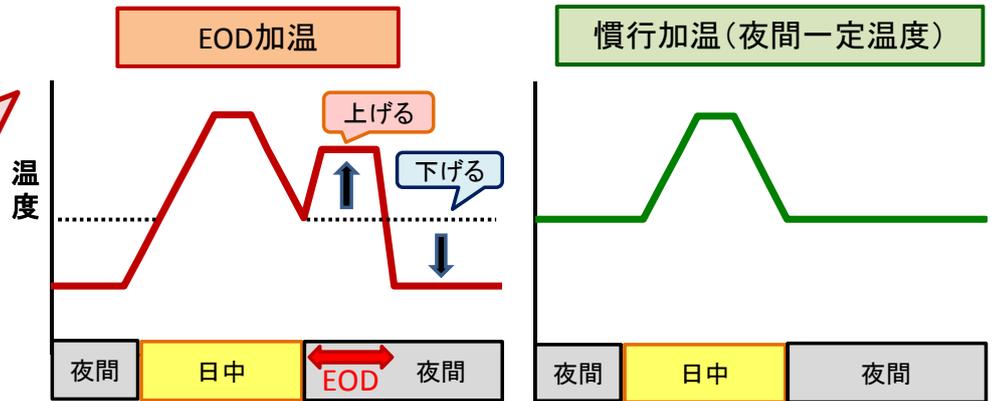
# EOD加温を利用した鉢物・花壇苗の省エネ暖房技術

## 【背景・目的・成果】

鉢物・花壇苗の春季に出荷する品目では、冬季の暖房が不可欠です。しかし、暖房コストが経営を圧迫しており、効率的な加温技術が求められています。そこで、鉢物・花壇苗の主要な品目において、日没後短時間の加温(EOD加温)を適用し、暖房コストを削減できる温度管理技術を開発しました。

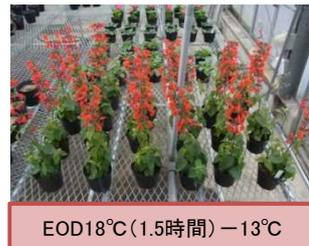
### EOD加温

日没直後の時間帯(EOD=End of Day)に、施設内の設定温度を一時的に上げることで、その後の夜間の低温管理が可能となります。従来通りの開花・生育を確保しつつ、暖房コストを削減できます。



EOD加温が適用できる品目と温度管理方法  
(慣行:夜間16°C一定加温)

温度管理	品目	暖房コスト (慣行比)
日没後 1.5時間18°C、 その後13°C	サルビア・コッキネア	74%
日没後 3時間18°C、 その後13°C	ガーベラ	78%
	ビンカ	
	サルビア・ファリナセア	
	サルビア・スペルバ	
	カリブラコア	
	球根ベゴニア ブーゲンビリア	



サルビア・コッキネア



ガーベラ



ビンカ

暖房コストを削減

開花時期・生育は同等

## 【技術の活用】

EOD加温を行うには、各時間帯の温度を制御する機器として4段サーモスタットが必要で、暖房機器に接続して利用します。